



VIE-X007 II /VIE-X007W II

7型/200mmコンソール7型ワイドVGA
LED液晶 SD ナビ

取付説明書

安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	4
2. GPSアンテナを取り付ける	7
3. フィルムアンテナを取り付ける	8
4. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける	13
5. 接続する	14
6. ナビゲーション本体を取り付ける	29
7. 確認する	31
8. B-CAS(ビーカス)カードを挿入する	32
9. 接続状態を知る	32
10. B-CAS(ビーカス)カードをテストする	33
11. 車種専用セッティングをする	36

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。	 強制	強制(必ず実行していただく内容)を示しています。
 禁止	分解禁止を示しています。	 注意	注意すべき内容を示しています。

警告

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。





上する

5内

勿的

して



車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。

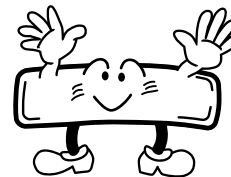


1. はじめに

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。
カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。
白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。(29ページ参照)
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



- 本機には保護フィルムが貼られています。画面を保護するため、取り付け作業はフィルムを貼ったまま行ってください。本機取り付け終了後、電源を入れてディスプレイを開いてからフィルムを外してください。

1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

■ ナビゲーション本体取付用部品

サラネジ(M5×8)^{※1}



×8

バインドネジ
(M5×8)^{※1}



×8

スポンジ^{※2}



※1 側面のブラケット形状に合ったネジを使用してください。

※2 使用方法は、「6. ナビゲーション本体を取り付ける」手順3(31ページ)を参照してください。

■ GPSアンテナ取付用部品

GPSアンテナ
(2.5m)



アンテナ取り付け
プレート



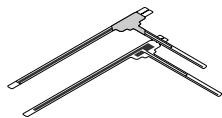
コードクランプ



×3

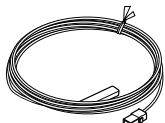
■ フィルムアンテナ取付用部品

フィルムアンテナ



Ⓐ×2、Ⓑ×2

アンテナコード
(4m)



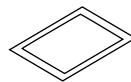
Ⓐ×2、Ⓑ×2

クランプ



×6

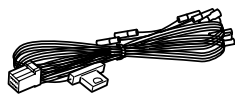
クリーナー



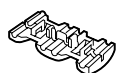
- フィルムアンテナⒶは必ずアンテナコードⒶと、フィルムアンテナⒷは必ずアンテナコードⒷと取り付けてください。アンテナコードⒶ、Ⓑの区別については、「5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける」(12ページ)を参照してください。

■ コード類・その他品

● VIE-X007 II のみ
電源コード

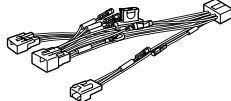


圧着コネクター

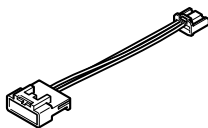


×2

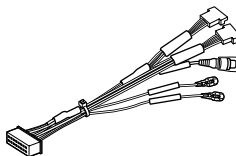
● VIE-X007W II のみ
電源コード



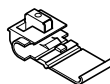
ステアリング
リモートケーブル



カメラコード



圧着コネクター



スピードセンサー
延長コード(2.8m)



ハンズフリー電話用
マイク(4m)

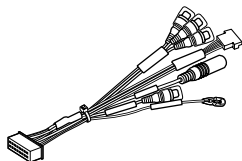
マイク



台座

両面テープ

外部入力/マイク
コード



B-CASカード



SDカード(地図用)



SDカード(録音用)



※ 地図データ格納済み/本機に挿入済みです。 ※ 録音用に初期化済み/本機に挿入済みです。

VIE-X007W II のお客様へ

下記、詳細はインフォメーションセンターへお問い合わせください。

- ・ お車がトヨタ/ダイハツ車の場合は、付属の電源コードとステアリングリモートケーブルを使用してください。ただし、一部非対応の車種があります。
- ・ トヨタ/ダイハツ車以外のお車の場合は、別売の電源コードや取付金具等が必要になる場合があります。

2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。



Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消える場合があります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。

5 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

6 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、「6.ナビゲーション本体を取り付ける」(29ページ)で利用します。)

2. GPSアンテナを取り付ける

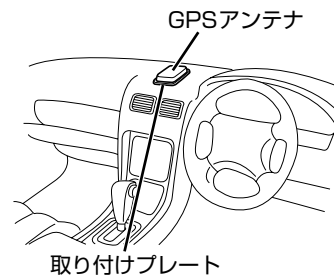


Memo

- エアバッグ作動時に、その動作を妨げる場所への取り付け、配線は行わないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナは車外に取り付けしないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- アンテナ取り付けの際は、TVアンテナケーブルとGPSアンテナが近づくと（15cm以内）、GPSが受信できない場合があります。
- 別売のETC車載器やビーコンユニット等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーション本体とも50cm以上離して取り付けてください。

1 アンテナをダッシュボードに取り付ける。

- 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
- アンテナ底面の両面テープの保護紙を剥がして、取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。



2 コードを固定する。

- コードクランプでコードを固定する。

3. フィルムアンテナを取り付ける

● 取付完成概略図

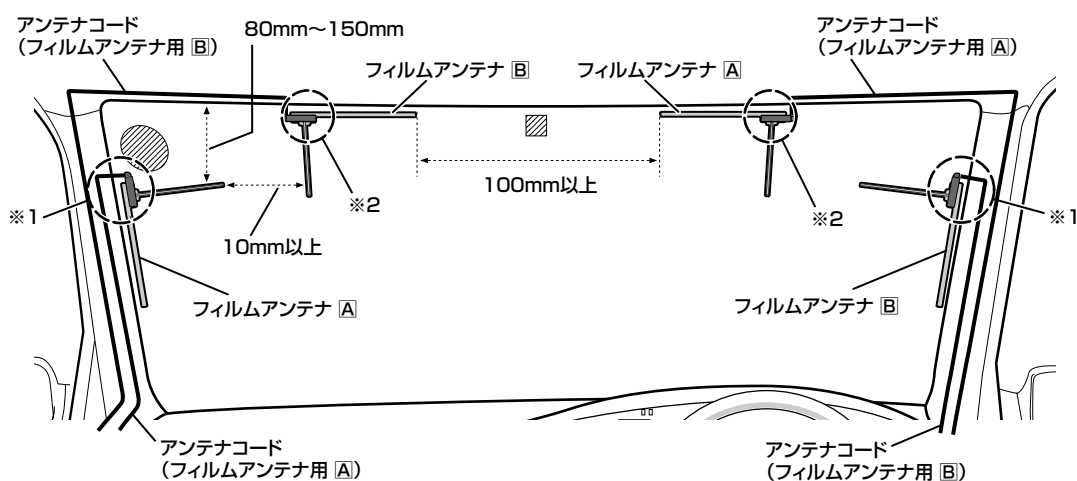


注意

- 車種により受信感度が最適になるアンテナの貼り付け位置と組み合わせがあります。詳しくは「パーフェクトフィット」付属の取付説明書または、「車種専用フィルムアンテナ取付ガイド」を参照してください

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナの給電端子は、必ず下記の様に貼り付けてください。

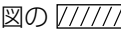
<車内からみた配線図例>



- 取り付けの際は、フィルムアンテナに印されている[A]、[B]の貼り付け左右位置を上図にて確認の上、取り付けを行ってください。
- ※1 フィルムアンテナの給電端子は、フロントウィンドウ左右端(セラミックライン)から25mm以内に必ず貼り付けてください。
- ※2 フィルムアンテナの給電端子は、フロントウィンドウ上端(セラミックライン)から25mm以内に必ず貼り付けてください。



Memo

- 図の  部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
- フィルムアンテナ[A]は必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている[A]と、フィルムアンテナ[B]は必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている[B]と取り付けてください。[A]、[B]を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。
- アンテナコードの引き回し方向は、本取付完成概略図を参考にしてください。





警告

- 前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。
- コード類は運転操作の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- 本フィルムアンテナは、フロントウィンドウ専用です。フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- フロントピラーにエアバックを搭載している車には、取り付けることはできません。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- 本フィルムアンテナは、セラミックラインの上に貼り付けても問題はありません。できるだけ車体に近い場所に貼り付けてください。
- フロントウィンドウにTVアンテナ・FM多重用フィルムアンテナ(別売)などをすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上程度離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプの保護シートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。

1 アンテナの貼り付け位置を確認する。

1) フィルムアンテナをセロハンテープで仮止めする。

- 「5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける」(12ページ)を参考に、アンプがフロントウィンドウ内におさまる位置にフィルムアンテナを仮止めする。このときアンプは、できるだけ車体に近い位置に貼り付けてください。
- フィルムアンテナ貼り付け位置、距離については、「取付完成概略図」(8ページ)を参考に貼り付けてください。

2) フィルムアンテナの貼り付け位置をセロハンテープ等でマーキングする。

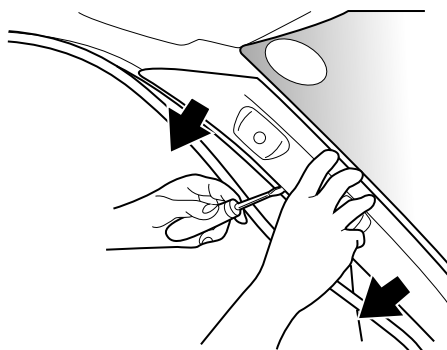
2 内装部品を取り外す。

アンテナコードを配線するために、内装部品(内張りなど)を取り外してください。

※ ここではまだ配線しないでください。

1) フロントピラーを取り外す。

また、フロントウィンドウ上側の車体面にて作業するため、必要に応じてマップライト、サンバイザー、天井の内張り等も外してください。



⚠ 注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損や変形する場合があります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合や他のフィルムアンテナが貼りつけられている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように、十分離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。
- フロントピラーにエアバックを搭載している車には、取り付けすることはできません。

3 フィルムアンテナを貼り付ける。

1) 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。

2) フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとる。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。

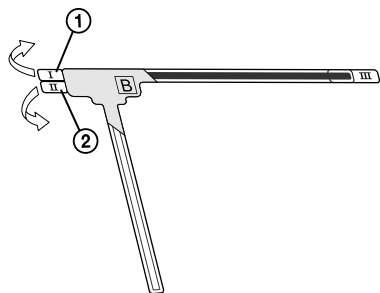
- 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

3) アプリケーションフィルムの端をフロントウィンドウ貼り付け位置に合わせ、端から貼り付ける。

- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

※一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

<フィルムアンテナ>



- ① アンテナのアプリケーションフィルム(糊付きフィルム)から、ゆっくりとタグ「I」部のセパレーター(透明フィルム)をはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。
- ② 続けて、タグ「II」部をゆっくりとはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。

- アプリケーションフィルムにアンテナが残るように、透明のセパレーターをはがしてください。セパレーターをはがした状態では、車内から見たアンテナのパターンは銀色、糊面のパターンは黒色になります。

セパレーター側にアンテナが残った場合には

- アプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがします。アプリケーションフィルムにパターンが移っていることを確認しながら、ゆっくりはがしてください。
- 最初はアプリケーションフィルムにパターンがあっても、途中からセパレーターに残る場合があります。その場合もアプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。

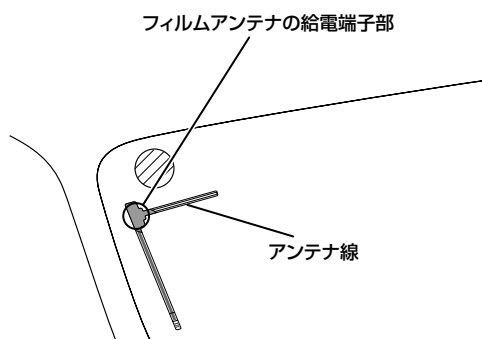


注意

- セパレーターを急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがすときアプリケーションフィルムを強く曲げると、アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがした後は、アンテナに触れたり物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

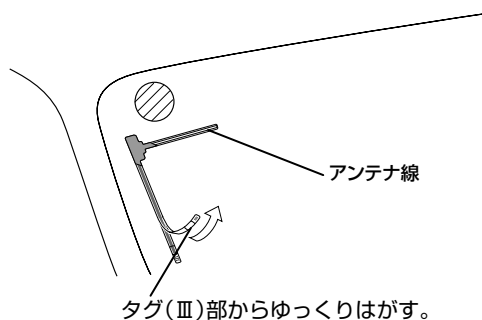
4) アンテナをしっかりガラスに密着させる。

- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラ使用)。アンテナ線の無い部分は、あとではがしますので、強く押す必要はありません。
- 給電端子部分は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。



5) アンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、アプリケーションフィルムをゆっくりはがす。

- アプリケーションフィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、アプリケーションフィルムを一度もとに戻し、アンテナ線を中心に強く押し定着させてから再度はがしてください。



6) アンテナを柔らかい布などで上から押さえつける。

- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電端子部分には、直接手で触れないでください。皮脂などの汚れが付着すると給電端子部分が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4 コードを配線する。

1) アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナコードを配線する。

- 実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めし、アンテナコードのアンプ給電端子の先端部がフィルムアンテナに届く位置にくるように調整してください。

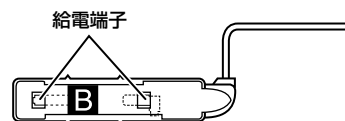
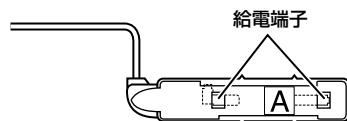
5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける。



- フィルムアンテナ[A]は必ずアンプ裏面に[A]と印されているアンテナコードと、フィルムアンテナ[B]は必ずアンプ裏面に[B]と印されているアンテナコードと取り付けてください。[A]、[B]を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

<アンテナコード [A]・アンプ部裏面>

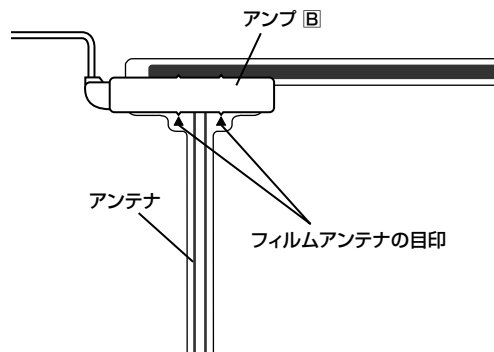
<アンテナコード [B]・アンプ部裏面>



1) アンプ裏面(給電端子部)の保護シートをはがす。

2) アンプの給電端子突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。

<フィルムアンテナ[B]の場合>



6 配線および内装部品(内張など)を元に戻す。

- 1) アンテナコードを本機背面へ接続する。(「フィルムアンテナ接続図」(19ページ)を参照ください。)
- 2) 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品(内張など)を元に戻す。



注意

- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けてください(端子のズレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません)。
- 配線作業時は給電端子に負担を掛けしないでください(給電端子をささえながらコードの配線を行ってください)。
- 引き回しに余ったアンテナコードは、他機器の近くには置かないでください。感度の劣化がおきる場合があります。

4. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける

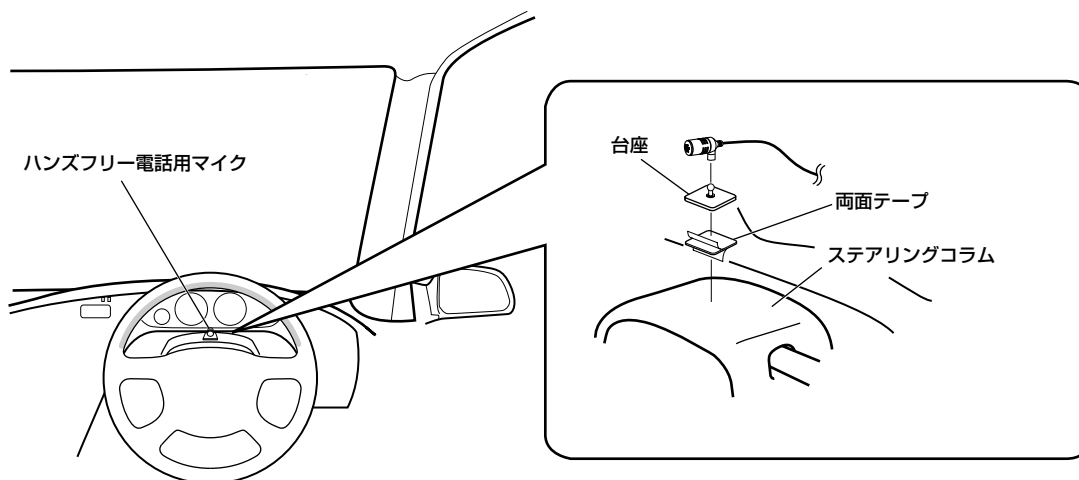


注意

安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所。
- 運転したときに視界や運転操作の妨げにならない場所。
- ハンズフリー電話用マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所に取り付けてください。発話するときに、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。

1 ハンズフリー電話用のマイクを取り付ける。



注意

- ハンズフリー用マイクのコードは、ハンドル操作やブレーキ操作など運転操作の妨げにならないように配線してください。

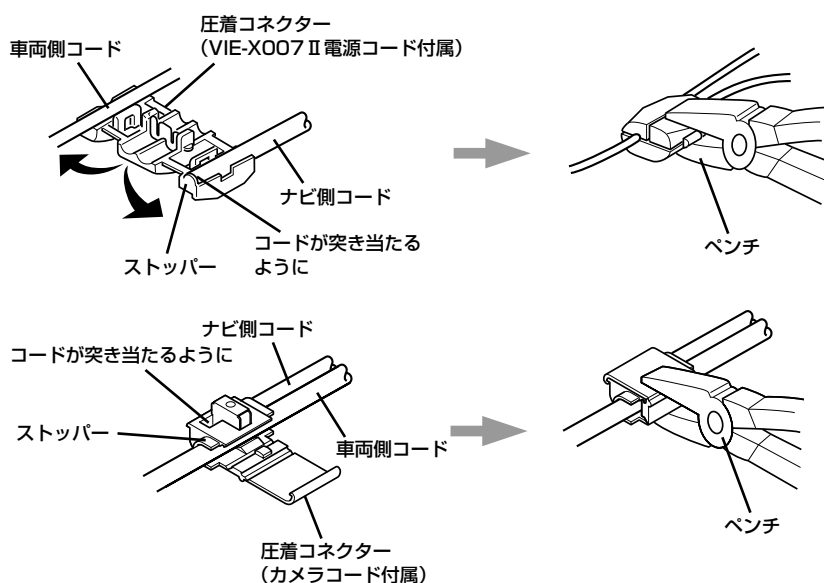
5. 接続する 接続するごとに ☐ OK に ✓ 点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 車両ハーネスを確認する。

- 必要に応じて圧着コネクタを装着する。



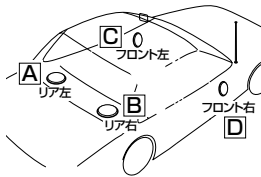
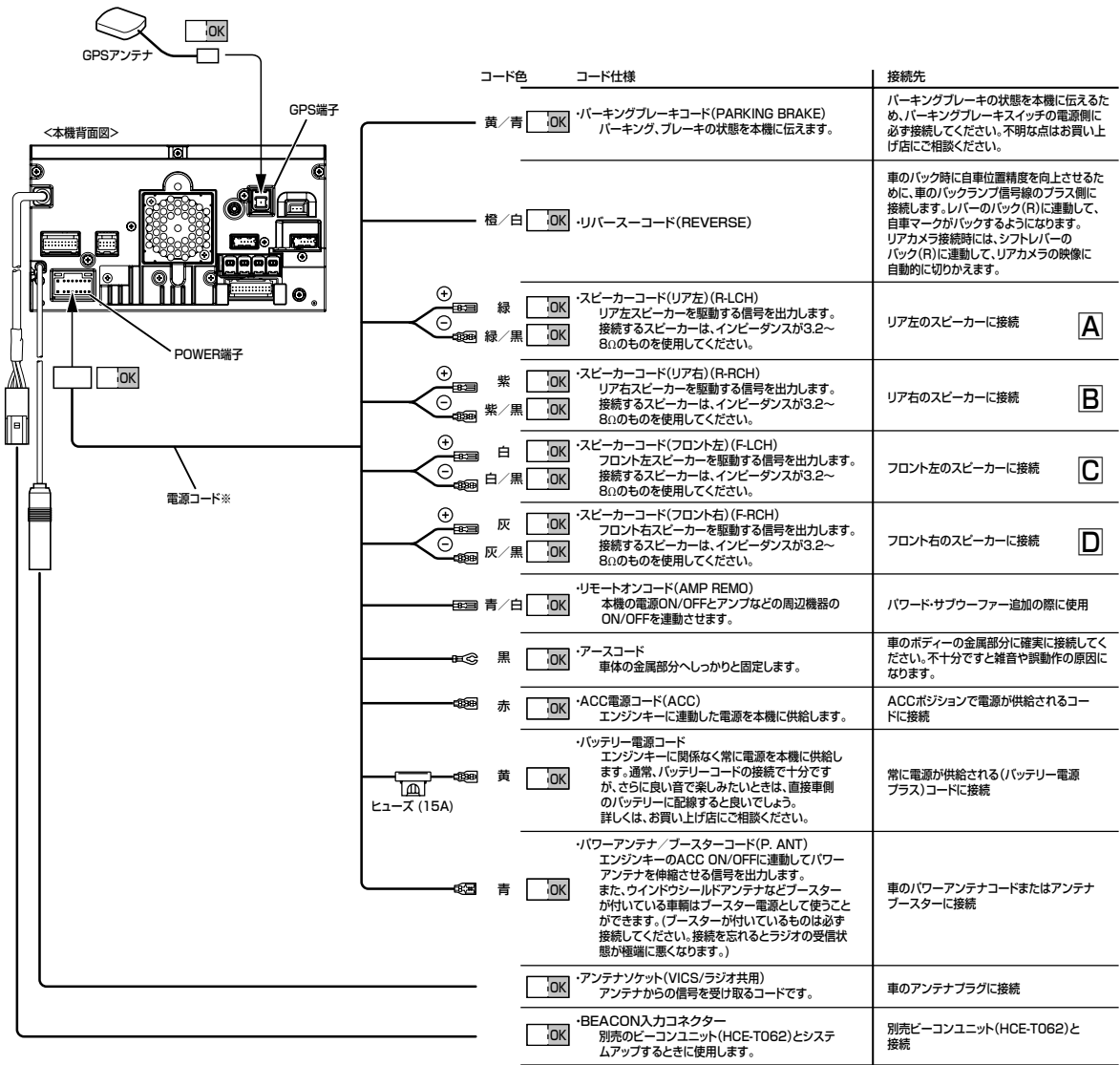
3 接続する。



注意

- 正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続しないコードは、絶縁テープを巻く等の処置をしてください。

● 基本接続図(VIE-X007 II)

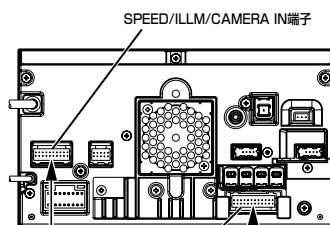


外部入力/マイクコード ➡ 16ページ

カメラコード ➡ 16ページ

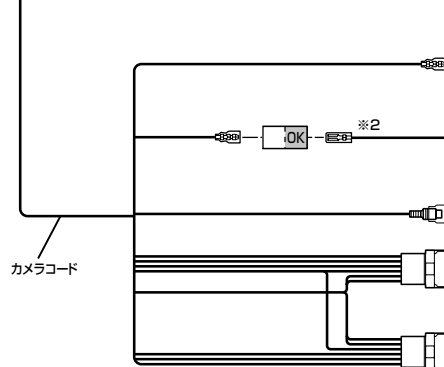
フィルムアンテナの接続 ➡ 19ページ

ETC車載器またはDSRC車載器、ビーコン(VICS)、ハンズフリー電話用マイクの接続 ➡ 20ページ



コード色	コード仕様	接続先
黒	・サブウーファー出力端子 (SUBW.) サブウーファー用信号を出力します。	パワードサブウーファー追加の際、サブウーファー用アンプ (ローパスフィルター内蔵アンプ) に接続
赤	・外部入力端子 (AUX INPUT)	組み合わせる製品の外部出力に接続
白	映像/音声を入力します。	
黄		
黒	・マイク入力コード (MIC IN) ハンズフリー電話を使用する場合に接続します。	ハンズフリー電話用マイクと接続
黒	・ステアリングリモコン端子 (STEERING REMOTE) ※1 車のステアリングリモコンで操作するときに使用します。	別売の純正ステアリングリモコン接続ケーブルと接続 ※1
茶	・リモート出力コード (REMOTE OUT) リモコン信号を出力するためのコードです。	組み合わせるアルパイン製リアビジョンのリモート入力コードに接続

※1 別売の純正ステアリングリモコン接続ケーブルをご用意ください。
ステアリングリモコン適合車種については、アルパインホームページをご覧ください。
<http://www.alpine.co.jp/>



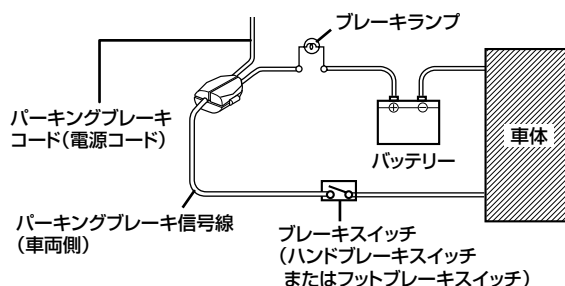
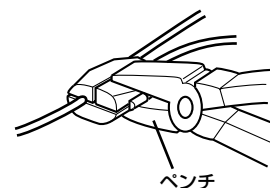
コード色	コード仕様	接続先
橙	・イルミネーションコード (ILLM) スモールランプなどのライトに連動して照光スイッチの明暗切り替えを行います。	車のスモールライトコードに接続
緑/白	・スピードセンサーコード (SPEED) 走行距離を計測するために車速/リンスを利用します。 ※2 スピードセンサー延長コードは必要に応じてご使用ください。	車速/リンスコードは車種/年式によって違い、間違った接続は車に重大な影響 (ブレーキが効かなくなるなど) を与えますので、販売店に問い合わせ確実に接続してください。(販売店での接続をお勧めします。)
黄	・カメラ用ビデオ入力端子 (CAMERA IN) 映像を入力します。	リアカメラ/ルームカメラ/サイドカメラのビデオ出力に接続。
	・フロントカメラ接続端子 (FRONT CAMERA) フロントカメラ (HCE-C212FDシリーズ)/TOPVIEWマルチカメラ (HCE-C500シリーズ) と接続する場合に使用します。	HCE-C212FD/HCE-C500シリーズのカメラに接続。
	・リアカメラ接続端子 (REAR CAMERA) リアカメラ (HCE-C210RD/HCE-C900D/SGS-C900Dシリーズ)/TOPVIEWマルチカメラ (HCE-C500シリーズ) と接続する場合に使用します。	HCE-C210RD/HCE-C900D/SGS-C900D/HCE-C500シリーズのカメラに接続。

パーキングブレーキコードを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキコードを圧着コネクターを使用して接続する。

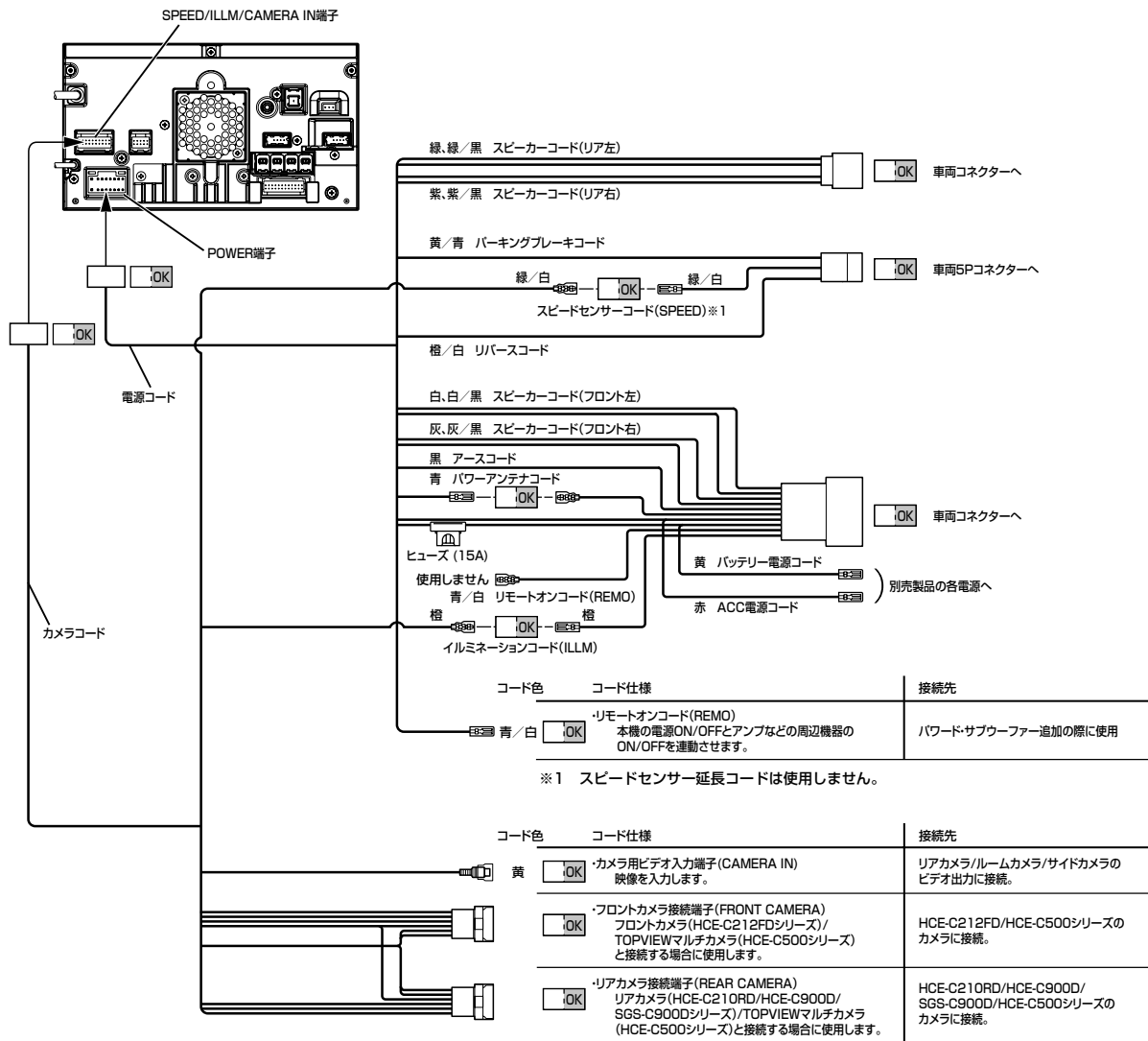
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。

パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。



パーキング線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

● 基本接続図(VIE-X007W II)



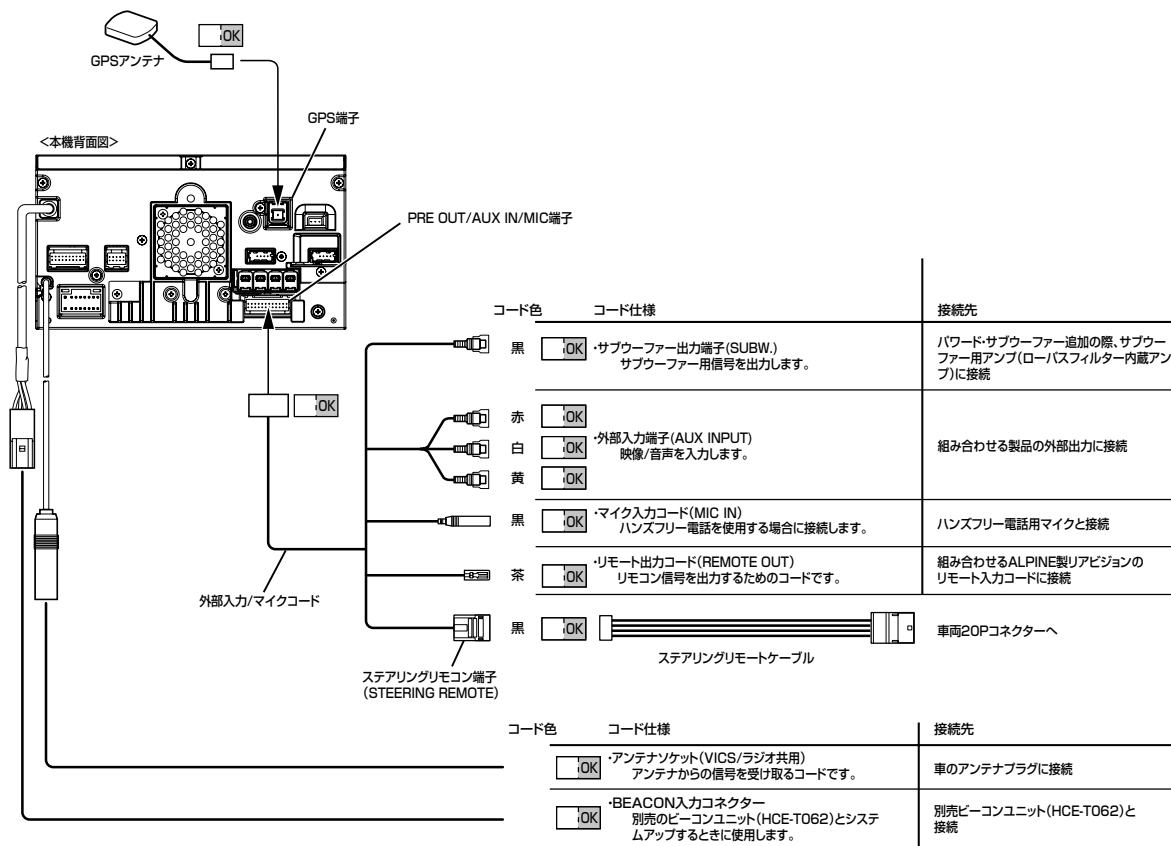
※この接続図はVIE-X007WII付属の電源コード(トヨタ/ダイハツ車用)を使用した場合の接続例です。
取り付ける車種によっては、変換ケーブル等が別途必要になる場合があります。

電源補足説明 ➡ 18ページ

外部入力/マイクコード ➡ 18ページ

フィルムアンテナの接続 ➡ 19ページ

ETC車載器またはDSRC車載器、ビーコン(VICS)、ハンズフリー電話用マイクの接続 ➡ 20ページ



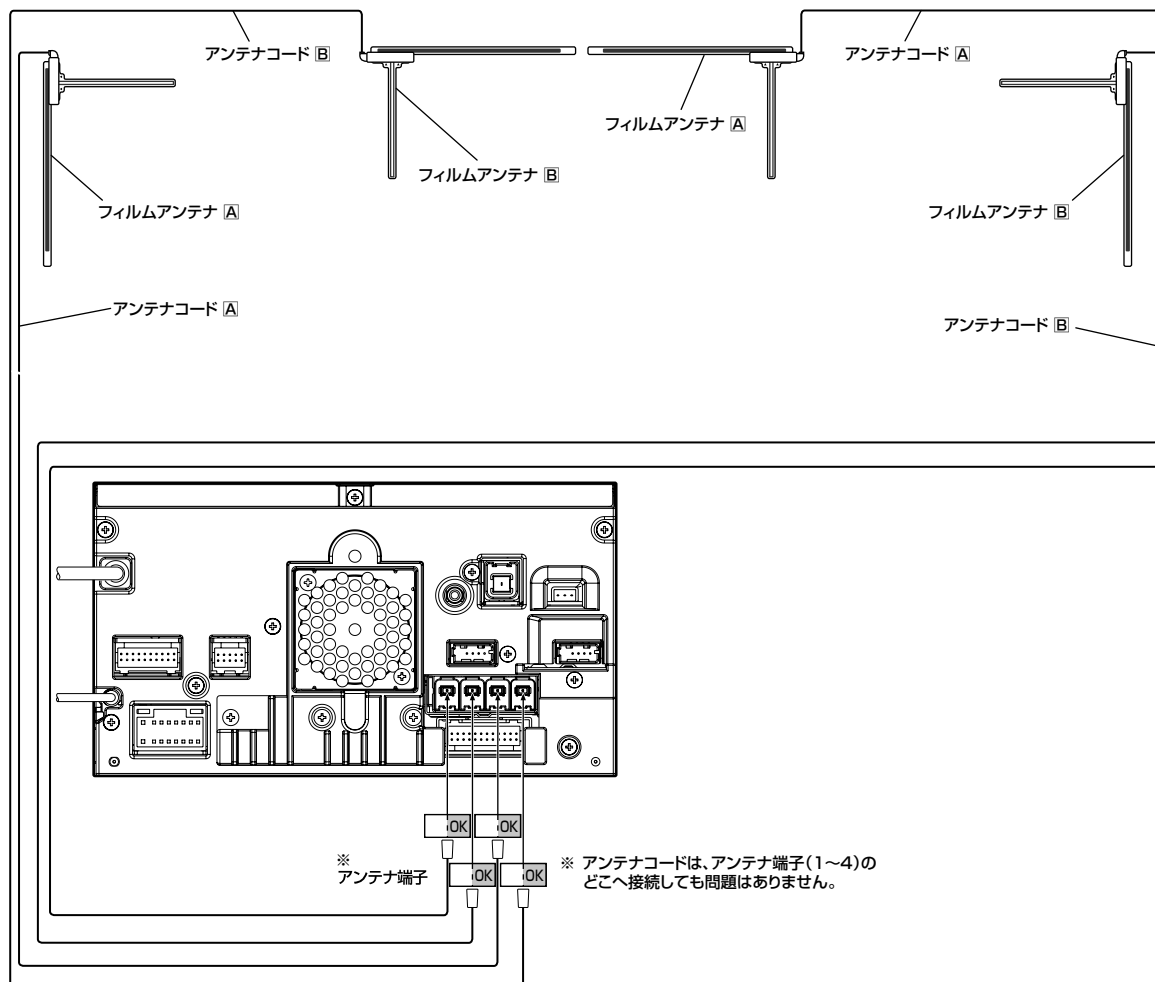
コード名称	補足説明
スピーカーコード	スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2 ~ 8Ωのものを使用してください。
パーキングブレーキコード	パーキング、ブレーキの状態を本機に伝えます。
リバースコード	接続すると車のバック時に自車位置精度が向上します。レバーのバック(R)に連動して、自車マークがバックするようになります。リアカメラ接続時には、シフトレバーのバック(R)に連動して、リアカメラの映像に自動的に切りかえます。
スピードセンサーコード	走行距離を計測するために車速パルスを利用します。
パワーアンテナコード	エンジンキーのACC ON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。
イルミネーションコード	スモールランプなどのライトに連動して照光スイッチの明暗切りかえを行います。
ACC電源コード	エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。
バッテリー電源コード	エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。

● フィルムアンテナ接続図



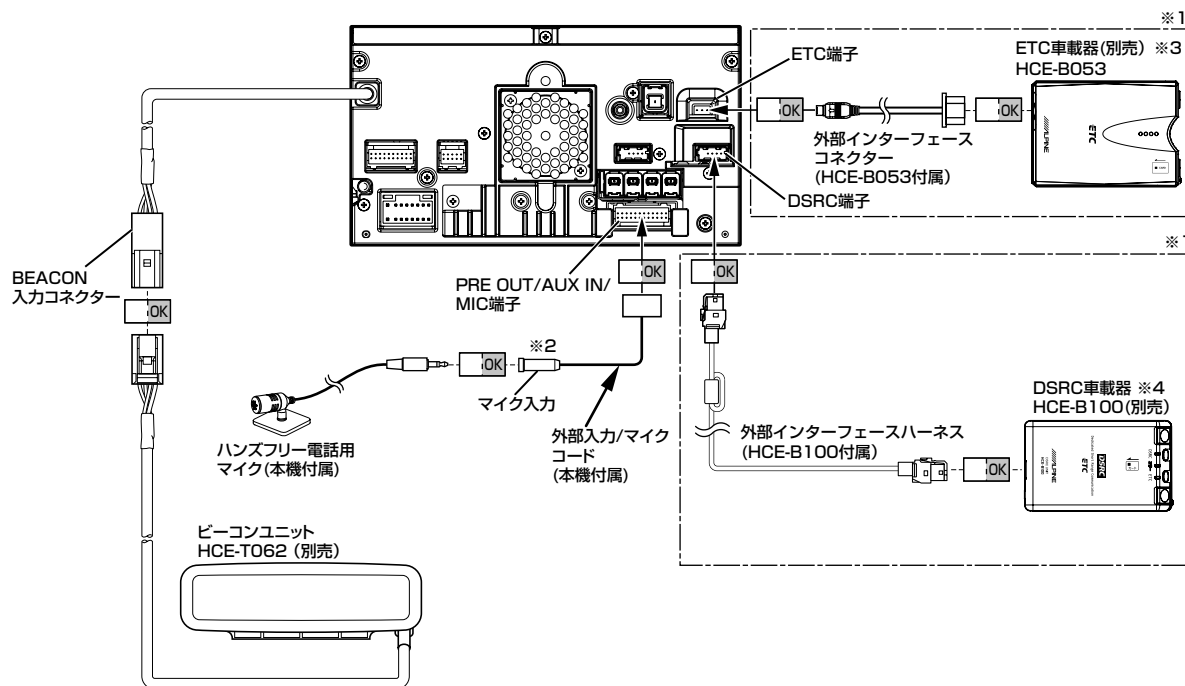
注意

- 車種により受信感度が最適になるアンテナの貼り付け位置と組み合わせがあります。詳しくは「パーフェクトフィット」付属の取付説明書または、「車種専用フィルムアンテナ取付ガイド」を参照してください



- フィルムアンテナ A は必ずアンプ裏面に A と印されているアンテナコードと、フィルムアンテナ B は必ずアンプ裏面に B と印されているアンテナコードと取り付けてください。A、B を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

● ビーコン(VICS)、ETC車載器※¹またはDSRC車載器※¹、ハンズフリー電話用マイクを接続する



※1 ETC車載器とDSRC車載器を同時に接続することはできません。

※2 マイクはマイク入力コードに確実に接続してください。

別売のKCU-460iVのピンジャックに接続しても使用できません。

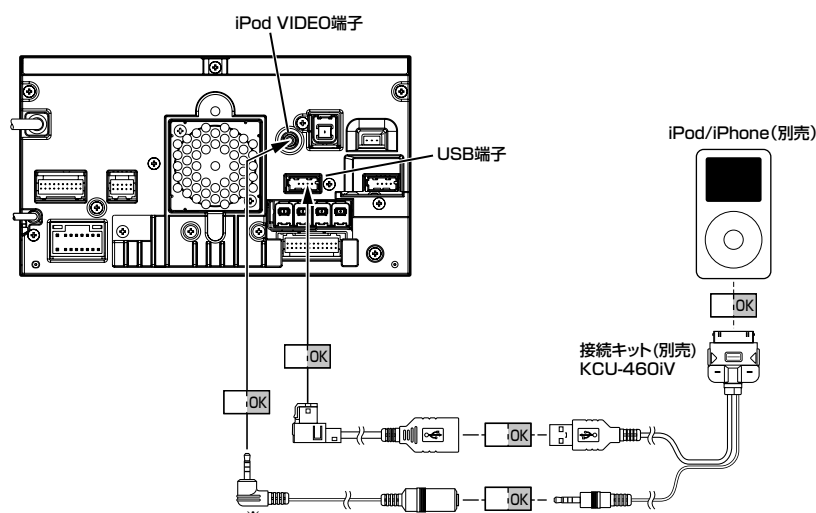
※3 別売のETC車載器HCE-B043を使用する場合はHCE-B043の取付説明書を参照の上、取り付けを行ってください。

※4 別売のDSRC車載器HCE-B110Vの接続には対応しておりません。



- 別売ビーコンユニット・HCE-T062をご使用ください。
- 別売ETC車載器・HCE-B043/HCE-B053またはDSRC車載器・HCE-B100をご使用ください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● iPod/iPhoneを接続する

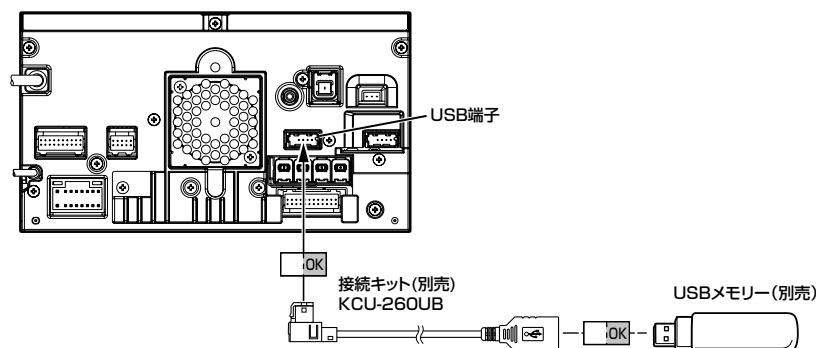


※マイク入力コードに接続しても使用できませんので、注意して接続してください。



- iPod/iPhoneの接続には別売接続キット KCU-460iVが必要です。(KCU-450iVには対応していません。)
- iPod/iPhoneとUSBメモリーまたはウォークマン® を同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、iPod/iPhoneを車の中に置いたままにしないでください。

● USBメモリーを接続する



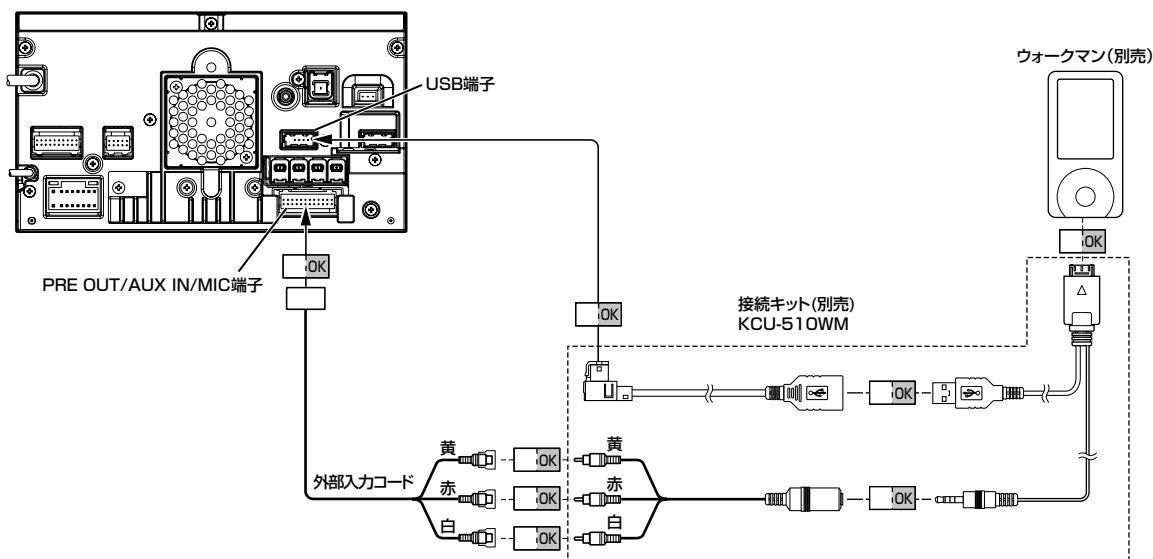
- USBメモリーの接続には別売接続キット KCU-260UBが必要です。別売のKCU-460iVまたはKCU-510WMのUSB延長コードを使用し接続することもできます。
- USBメモリーとiPod/iPhoneまたはウォークマン® を同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、USBメモリーを車の中に置いたままにしないでください。
- USBメモリーは設定・情報画面かAVソースメニュー画面で **USB解除** にタッチした後か、本機の電源がOFFになっている時に取り外してください。本機の電源ON中に **USB解除** にタッチせずに外すと、USBメモリーが破損する場合があります。

● ウォークマン®を接続する

<ウォークマン®接続時の注意>

本機へウォークマン®を接続する際は、ウォークマン®本体のホームメニュー「各種設定」から下記の設定を行ってください。設定を行わないと、歌詞やジャケット写真またはビデオ映像を本機へ映し出すことができません。(音楽再生画面・音楽サーチ画面・ビデオ再生画面以外は本機で表示できません。)

- 「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→[常時画面オン]
- 「ビデオ設定」→「テレビ出力(ビデオ)」→[オン]
- 「ビデオ設定」→「テレビ出力サイズ」→[16:9]
- 「音楽設定」→「テレビ出力(ミュージック)」→[オン]



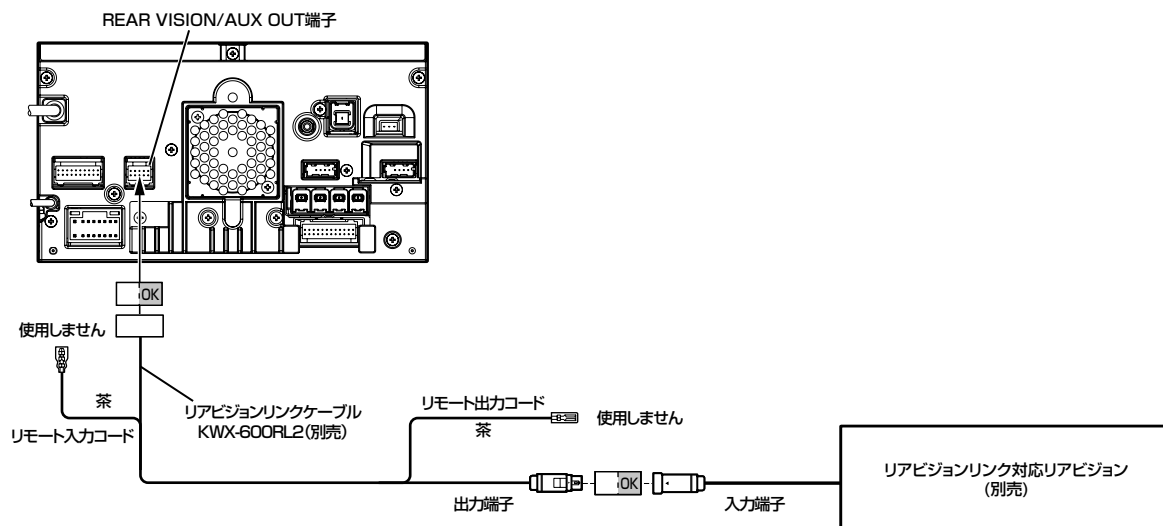
- ウォークマン®の接続には別売接続キットKCU-510WMが必要です。
- ウォークマン®とiPod/iPhoneまたはUSBメモリーを同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、ウォークマンを車の中に置いたままにしないでください。
- 外部入力の名前を設定することができます。
設定方法は **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **各種設定** → **AV** タブ → **外部接続機器選択** の順にタッチし **ウォークマン(R)** を選択し **完了** にタッチしてください。
- ウォークマン®を接続した場合、音声出力が小さいため本機 ソース別音量調整 で音量レベルを「14ステップ」へ設定することをお勧めします。
設定方法は **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **音質調整** の順にタッチし、**詳細設定2** タブ → **ソース別音量調整** → **ウォークマン(R)** を選び、音量レベル「14ステップ」に調整し **完了** にタッチしてください。(音量調整は、2011年7月現在発売の機種を接続した場合の値です。それ以降発売された機種については、好みの音量に調整してください。)
- ウォークマン®の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。



使用し
リモート

● リアビジョンを接続する

リアビジョンリンク対応リアビジョンを高画質接続する



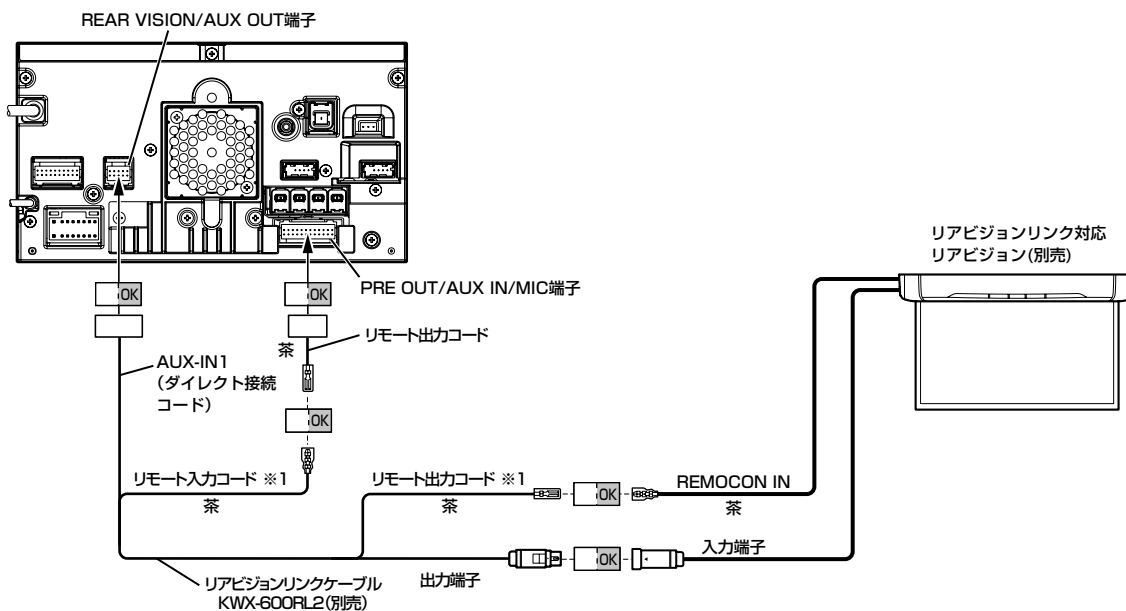
- ・ 本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のままとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。



- 別売のリアビジョンリンクケーブル(KWX-600RL2)・リアビジョンリンク対応リアビジョンについては、アルパインホームページ<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

プラズマクラスター技術搭載リアビジョンリンク対応リアビジョンを高画質接続する

■PCX-R3500/PCX-R3300/TMX-R3200/TMX-R3000シリーズ



※1 TMX-R3000シリーズでは使用しません。

・本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のままとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。

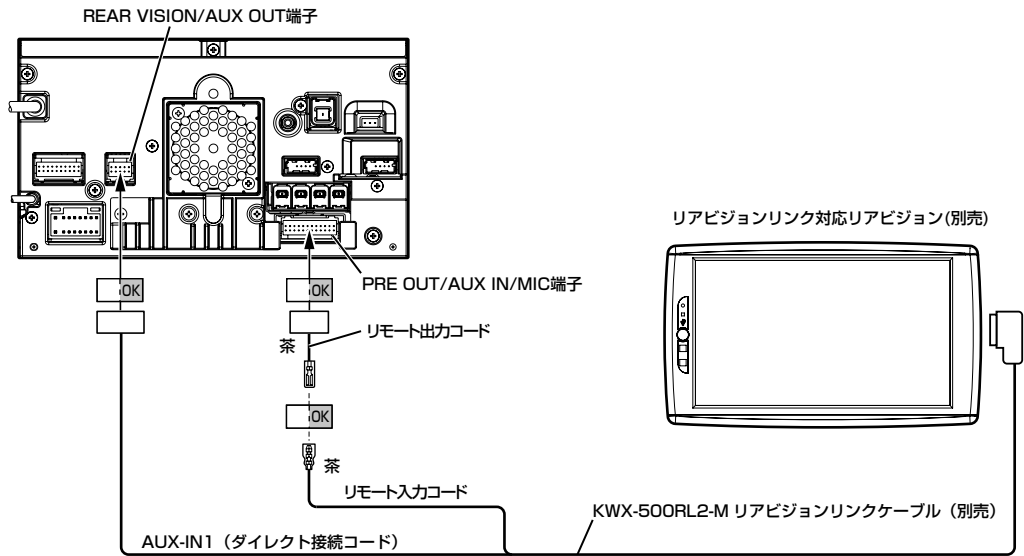


- 別売のリアビジョンリンクケーブル(KWX-600RL2)・プラズマクラスター搭載リアビジョンリンク対応リアビジョンについては、アルパインホームページ<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。

する

プラズマクラスター技術搭載リアビジョンリンク対応リアビジョンを高画質接続する

■PCX-M900Zシリーズ

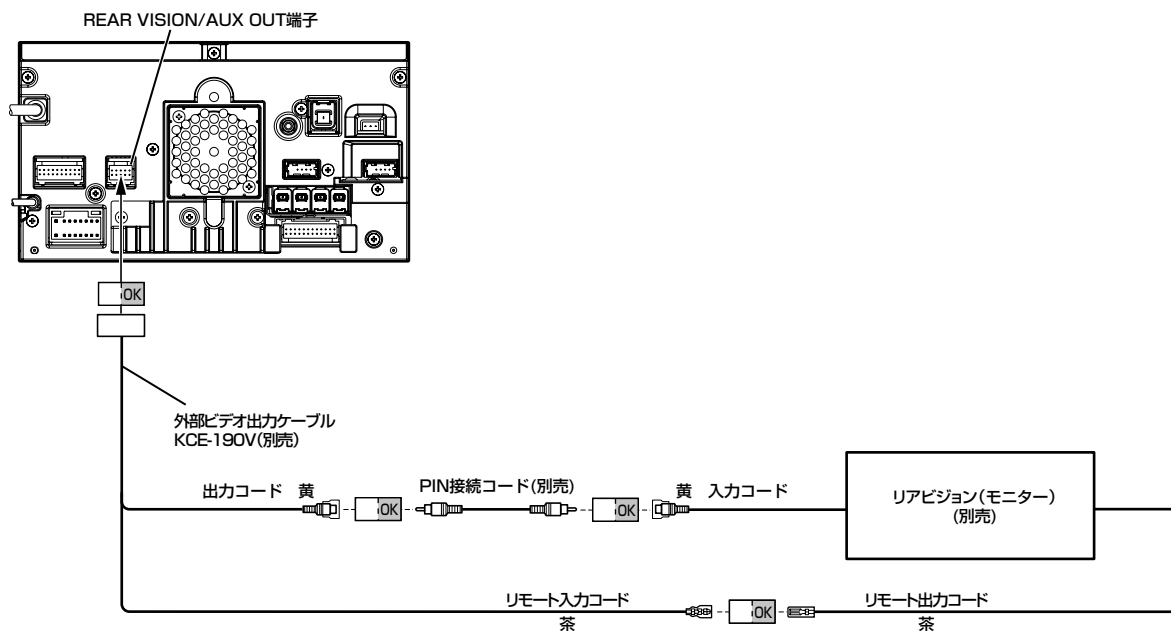


・ 本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のままとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。



- 別売のリアビジョンリンクケーブル(KWX-500RL2-M)・プラズマクラスター搭載リアビジョンリンク対応リアビジョンについては、アルパインホームページ<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。

外部ビデオ出力ケーブルを使用して接続する

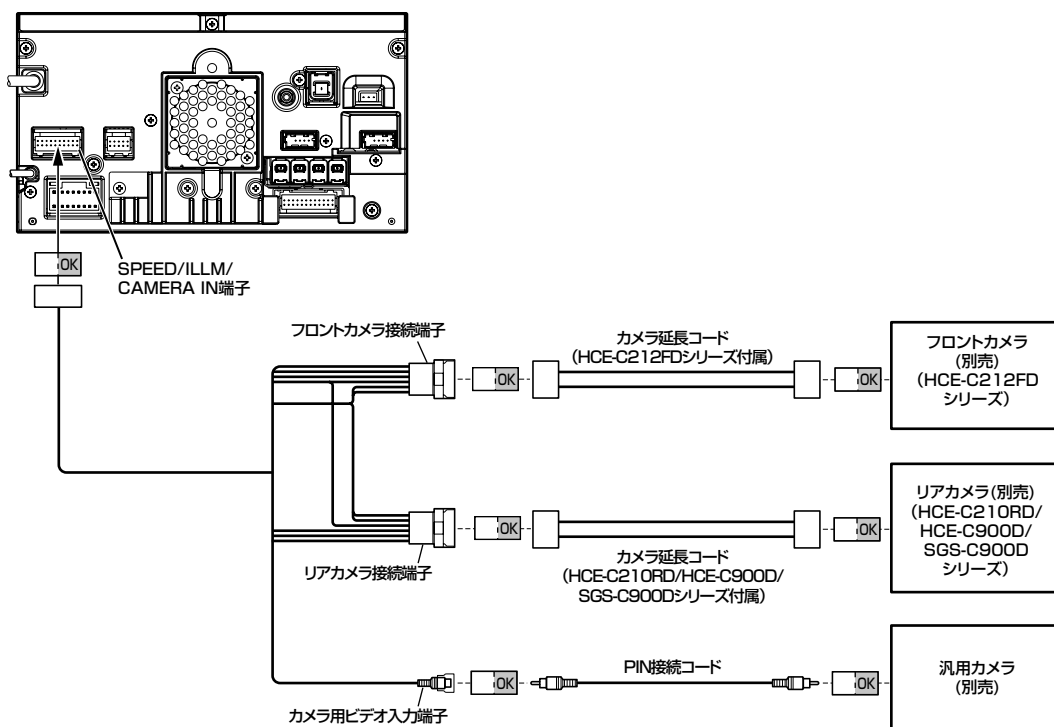


- ・ 本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のままとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。



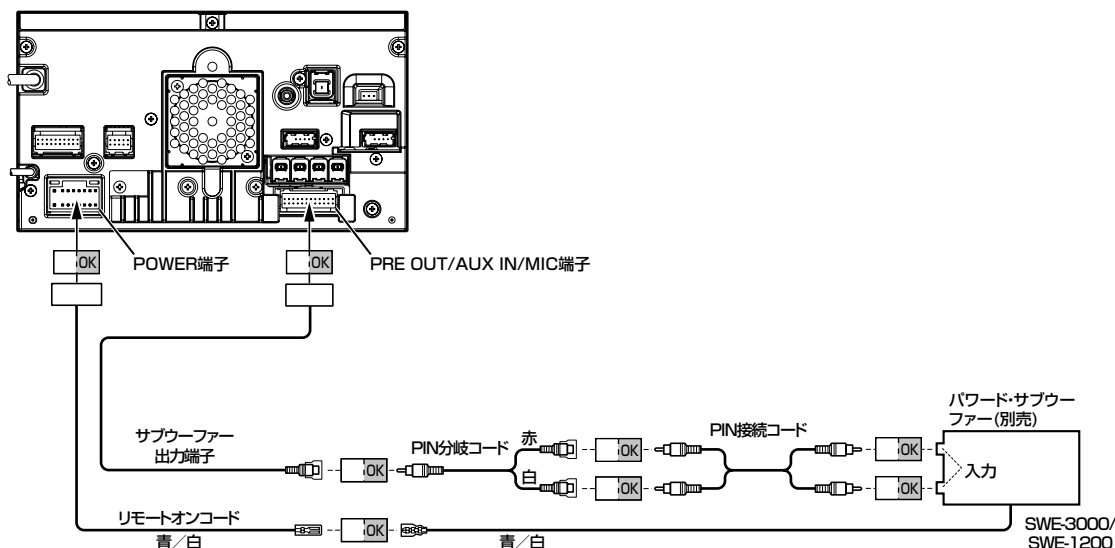
- 別売の外部ビデオ出力ケーブル・KCE-190V対応モニターについては、アルパインホームページ<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● フロントカメラ、リアカメラ、汎用カメラ(ルームカメラ/サイドカメラ)を接続する



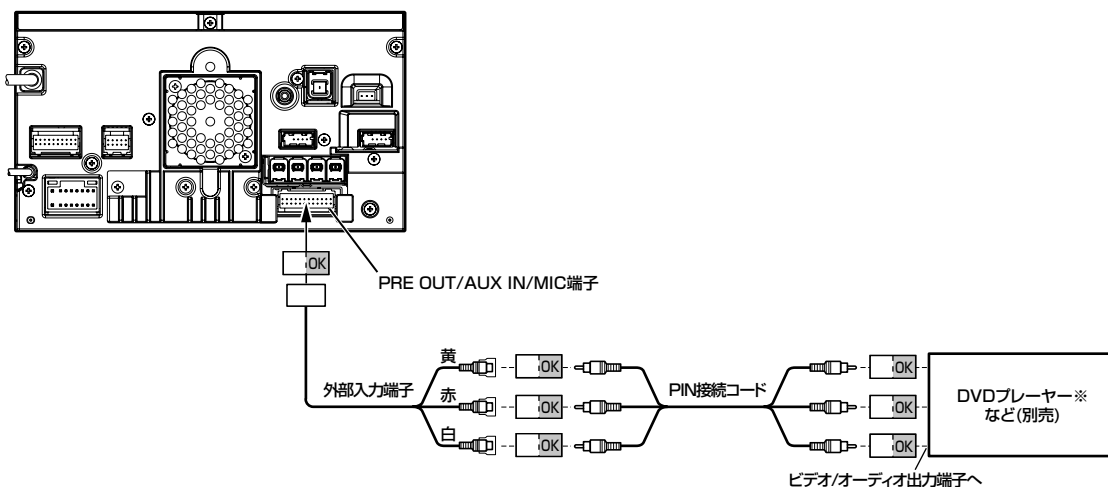
- リアカメラを、リアカメラ接続端子とカメラ用ビデオ入力端子に同時接続することはできません。
- TOPVIEWマルチカメラ接続に関しては、HCE-C500シリーズの取付説明書をご覧ください。
- TOPVIEWマルチカメラ接続時は、他のリアカメラ/フロントカメラを接続することはできません。
- カメラ用ビデオ入力端子に汎用カメラを接続する場合はナビゲーション側で設定が必要です。詳しくは取扱説明書「6.6 各種設定—その他 設定画面について」—「汎用カメラ接続」を参照してください。
- フロントカメラ接続時にスピードセンサーコードが接続されていないと、フロントカメラ速度連動表示を行うことができません。
取扱説明書「6.6 各種設定—その他 設定画面について」—「フロントカメラ速度連動表示」を参照してください。また、リアカメラ接続時にリバースコードが接続されていないと、シフトレバーをバックギア(R)に切りかえてもリアカメラ画面に切りかわりません。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● パワード・サブウーファーを接続する



- 取扱説明書「6.9 音質調整－詳細設定2画面について」－「サブウーファー設定」を参照してください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● 外部入力製品(DVDプレイヤーなど)を接続する



- 外部入力の名称を設定することができます。
設定方法は **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **各種設定** → **AV** タブ → **外部接続機器選択** の順にタッチし接続した機器に合わせて表示名を選択し **完了** にタッチしてください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

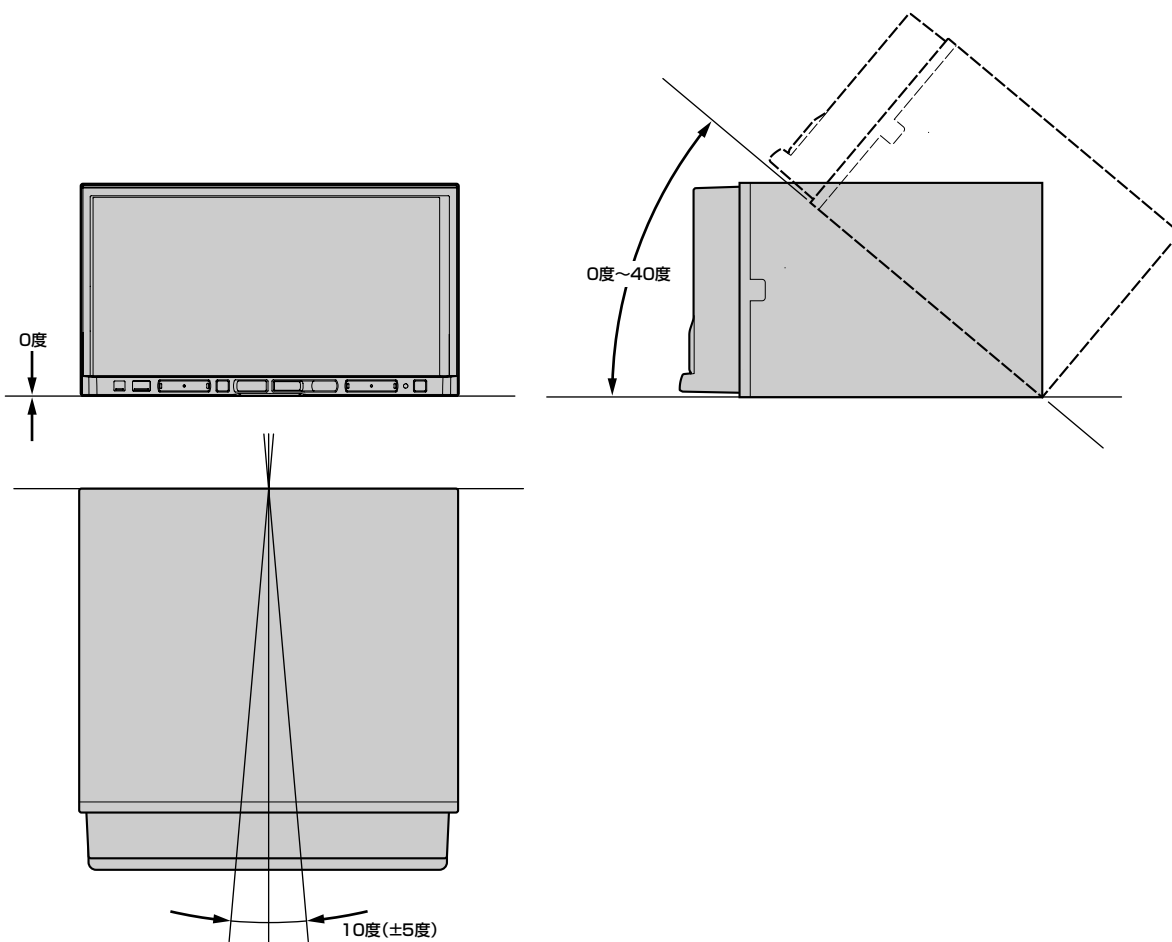
6. ナビゲーション本体を取り付ける

ナビゲーション本体取り付け上のご注意

- 車内の温度が低い(0℃以下)場合は本機が正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- 本機は精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。

＜ナビゲーション本体の取り付け角度＞

- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、本機故障の原因となります。

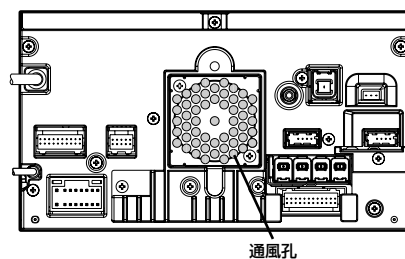




注意

通風孔をふさがない。

- 通風孔をふさがないでください。
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。

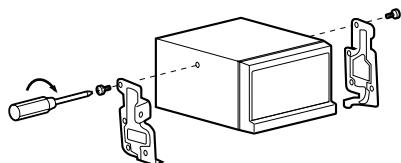


Memo

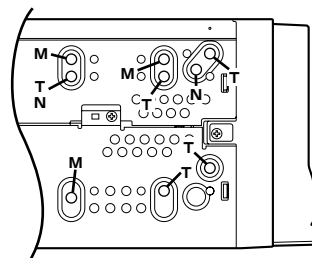
- 取り付けの際、通風孔の開口部にハーネス等を巻き込まないようにご注意ください。
- 通風孔に強い力を加えないように注意してください。破損の原因になります。

1 ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のバインドネジ(M5×8)でしっかり取り付ける。



<取り付け用ネジ穴>



N穴 → ニッサン車専用
T穴 → トヨタ・ミツビシ車専用
M穴 → マツダ車専用



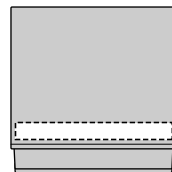
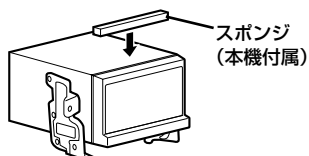
Memo

- 側面のブラケット形状に合わせて、バインドネジまたはサラネジを使用してください。
- サラネジを使用する場合、付属のサラネジ(M5×8)以外で製品を固定した場合は動作不良の原因になります。必ず、付属のサラネジ(M5×8)を使用して取り付けてください。

3 「ブラケットと一体になったナビゲーション本体」を車両にしっかり取り付ける。

本機取り付けの際、必要に応じてスポンジをご使用ください。

- 車両側の取り付けスペースと本機上部の間に隙間ができる場合は、図を参考にして、付属のスポンジを取り付けてください。



点線枠を目安にして
スポンジを貼り付けてください。

- VIE-X007W II を取り付ける場合は、「パーフェクトフィット」付属の取付説明書を参照してください。

4 パネル(インパネ)を取り付ける。



車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合はできるだけ本機から離す。

7. 確認する

1 コード類を固定する。

シートレールなどの可動部などにはさみ込む、または突起部に当てるなどコードを傷めないように注意して固定する。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

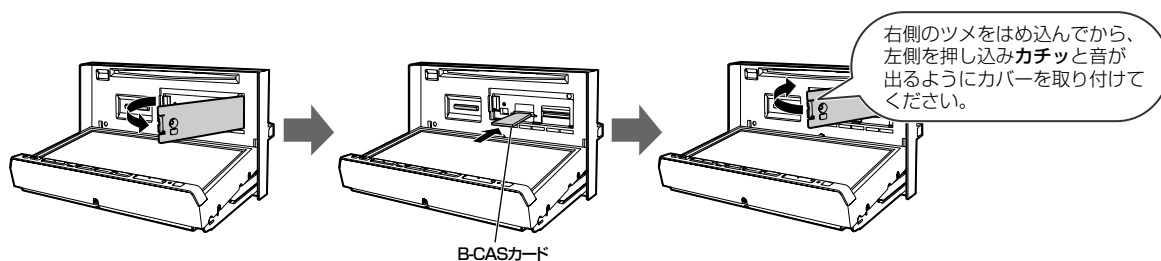
3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

8. B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する

本機で地上デジタルテレビを見るには、B-CASカードを挿入する必要があります。

1 付属のB-CASカードの表面を上にして”カチッ”と音がするまで差し込んでください。



- B-CASカードの金色端子部に触らないでください。触った場合、汚れによる接触不良の原因になったり、静電気で破壊されることがあります。万一汚れた場合は乾いた布で軽く拭いてください。
- 手ごたえがあるまで確実に挿入してください。
- カバーを閉めたあと、本機は自動的に再起動します。
- 通常、B-CASカードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了したら(33ページ参照)、B-CASカード破損などの場合以外は取り出さないでください。
- B-CASカードについて詳しくは、取扱説明書「5.2 テレビを見る」-「B-CASカードについて」を参照してください。

9. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。
 本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。
 また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 **設定** スイッチを押します。

設定・情報画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。



情報画面が表示されます。

3 その他 タブにタッチし、**車両情報** にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



- 車速パルスは、停車時など車速が入っていない時はOFFと表示されます。

10. B-CAS(ビーキャス) カードをテストする

B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。
まず、地上デジタルテレビの初期設定を行ってから、B-CASカードのテストを行ってください。

1 **MODE** スイッチを押します。

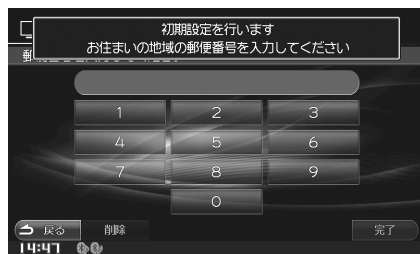
AVソースメニュー画面が表示されます。

2 **地上デジタルテレビ** にタッチします。



地上デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



地域設定画面が表示されます。

4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、**完了** にタッチします。



県域設定画面が表示されます。

5 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチし、**ホームスキャン** にタッチします。



ホームモードスキャンが実行されます。

スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

続いてB-CASカードのテストを行います。



- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

- 6 画面にタッチして操作スイッチを表示させ、**▶▶** にタッチして操作スイッチを切りかえます。**<<設定** にタッチした後、**設定** にタッチします。



地上デジタルテレビ設定画面が表示されます。

- 7 **▼** にタッチして画面を切りかえ、**B-CAS ID情報表示** にタッチします。

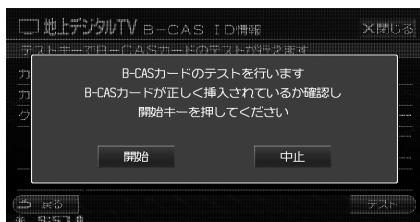


- 8 **テスト** にタッチします。



テスト開始の確認画面が表示されます。

- 9 **開始** にタッチします。



B-CASカードのテストが開始されます。

テストが終了するとテスト完了のメッセージを約4 秒間表示し、B-CAS ID情報画面に戻ります。



- B-CASカードのテスト中は、B-CASカードを取り出したり、電源をOFFにしないでください。カードの破損や故障の原因になります。

11. 車種専用セッティングをする

リストから車種を選ぶと、音質・画質・背景デザインなどが車種に合わせて自動的に設定されます。カメラ、サブウーファー、ステアリングリモコンの接続設定も行います。

車種専用セッティングは、本機に登録されている代表車種リストから選択する方法と、アルパインホームページからデータをダウンロードしSDカード・USBメモリー経由で設定する方法があります。

ここでは、本機に登録されている代表車種リストから選択する方法を説明します。

- アルパインホームページからデータをダウンロードしSDカード・USBメモリー経由で設定する方法については、取扱説明書「2.6 車種専用セッティングをする－ダウンロード」および「6.10 車種専用セッティング画面について」を参照してください。
- 車種専用セッティングがすでに設定されている場合は、あらためて設定する必要はありません。

1 設定 スイッチを押します。

設定・情報画面が表示されます。

2 車種専用セッティング にタッチします。



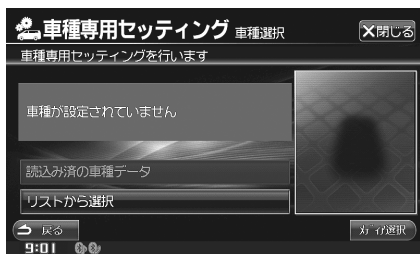
車種専用セッティング画面が表示されます。

3 車種選択 にタッチします。



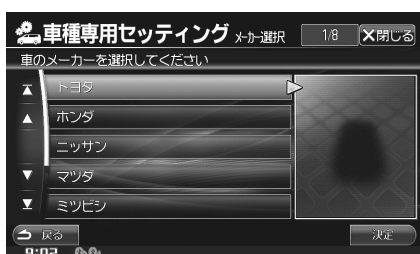
車種選択画面が表示されます。

4 リストから選択 にタッチします。

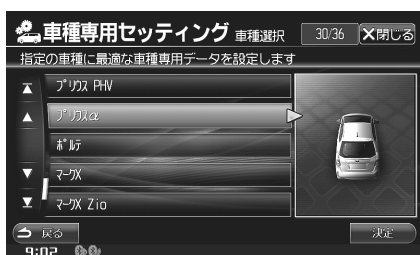


車種リストが表示されます。

5 リストからお客様のお車のメーカーを選択し、決定 にタッチします。



6 リストからお客様の車種を選択し、決定 にタッチします。



7 接続機器を設定し、決定 にタッチします。

リアカメラ接続^{※1}:カメラの製品名、または **カメラあり** **カメラなし**

サイドカメラ接続^{※1}:カメラの製品名、または **カメラなし**

サブウーファー: **あり** または **なし**

ステアリングリモコン^{※2}: **設定する** または **設定しない**

※ 1 汎用カメラを接続する場合は「カメラあり」に設定してください。/ 選択した車種にサイドカメラ設定がない場合、またリアカメラ接続を「カメラあり」に設定した場合は、サイドカメラ接続設定を行うことはできません。

※ 2 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

8 設定される内容を確認して、**決定** にタッチします。



- 車種専用セッティング中は電源を切らないでください。

9 確認メッセージが表示されたら **閉じる** にタッチします。



車種専用セッティングの完了です。



Memo

- 車種専用セッティングは本機を購入後すぐに、必ず停止した状態で行ってください。一度設定したら通常は再設定の必要はありません。

×E

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。



＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636

- 電話受付時間（日、祝日、弊社休業日を除く）

月～金：9：30～17：30

土曜日：9：30～12：00 13：00～17：00

＜FAX をご利用のお客様用＞

FAX：048-662-6676

- アルパインホームページ上から E-mail での問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (Y-736_B5)
68-26018Z11-A